## にようがいしゃ で害者の自立生活情報

No.39

(2011年11月号)





かみはんきしゅうだん 上半期集団 I L P集合写真

#### ---- もくじ

- ●連載エッセイ第一回 (姜博久)・・・・・・・2 ●社会資源調査 (イタリアン編) (山下大祐)・・・・6
- ゕゕゖゟきしゅうだん ほうこく あだちまこと へんしゅうこうき ▶上半期集 団ILP報告(足立 誠)・・・・・・4 ●編 集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

## いま、なぜか「障害者になろう!宣言」です…

がん ぱっく 姜 博久

いまから 20年ほど前、そんなに強い意志があるわけもなく、全障連関西ブロック しまきょくいん いぜん しきおかけんしみずし たたか いしかわとうそう しょうかい の事務局員になった。それ以前にも、静岡県清水市で闘われた石川闘争(障害のあ せいと ちいきこうく ちゅうがっこう しゅうがく もと ゆうめい きょういくとうそう ひと ら ちる生徒を地域校区の中学校への就学を求めた有名な教育闘争の一つ)に拉致されるよ いちにち ぜっしょく うに連れて行かれ、ハンストさせられたこと(たった一日もない絶食をハンストと呼 なかそねじみんとうせいけんか りんじきょういくしんぎかい ちほうこうちょうかい んでいいのかわからないが…)、中曽根自民党政権下の臨時教育審議会の地方公聴会 で おおさかがいじょう しょうがいじきょういく かん もうしいれしょ だ お お が開かれる大阪会場に、障害児教育に関する申入書を出しに押しかけたとき、ヘルメ ットをかぶった人たちに混じって公安警察に逮捕された場合の対応について説明され、 弁護士事務所の連絡先が書かれた紙を手渡される中、ビラを配っているところを公安 であるこうしゃ や ね の装甲車の屋根からバシャバシャと写真に撮られたこと、国民体育大会(国体)に天皇 せんぜん こくたい ひと らいはん さい ぜんしょうれん じむしょうか ちゅうしゃ (戦前はまさに「国体」だった人)が来阪した際に、全障連の事務所近くに駐車され た覆面パトカーからひそかに、しかし、まるわかりで出入りをチェックされていたこ と、等々をなつかしく選い出す。不思議なことに、コワイとは選わなかった。カラダ を動かさない「運動」って、こんなんなんやなぁと、どことなく納得していたような感 じだった。

全障連の主張に違和感はなかった。養護学校(いまの特別支援学校)で健気な小学生だったころ、「恐いヤツらがきてるから職員室に近づくな」みたいなことを教師に注意されたことがあった。あとで知ったのだが、そのとき学校に押しかけてきていたのが、いまの障大連議長の楠木さんたちだった。その姿を間近に見ていなかったのがよかったのか、その後、大学で聞いた楠木さんの講演も含めて、その言っていることにコワイなんてほとんど感じていなかった(ただ、多少、やり方乱暴なんちゃうんとは思ったけど。元来が穏やか好きだから f^^;))。

それでも、確かなことはあった。全障連活動の中で、僕の幼いときからの経験が、 である。 ないっというものに変換されていったことだ。 近所の子から「変な歩きかたしてる」と目の前で笑われたこと、兄が通う地域の小学校で「この子は(入学は) 無理ですね」と宣告されたこと、小さな子どもからジッと見られることがイヤで、自分の容姿を鏡で見ることを恐れてきたこと、頸椎症で自力歩行が無理になり、簡易の車

イスを押して歩きはじめてからも、出先ではそれを自分でさげて階段をひとりで上り下りしつづけていたこと、等々。それまで、仕方のないことと意識の外に追いやっていたことが、いかに、直接に、間接に差別にあい、それを自分の中に内面化していたことだったのか。改めて「障害者であること」をはっきりと自分の中に意識して、それと向き合うことになっていった。

そんな中で、いつからか、「障害者は、意識するしないにかかわらず、経験として、 この社会では、自分が障害者であること、障害者とされることを引き受けているんだ と、そして、できるなら、あえて自ら『障害者となる』ことで、身に降りかかるイヤ な思いや屈辱的な出来事のいろいろを、いまある差別として、まざまざと確かな形と して認識していくことが必要なのではないか」と考えるようになった。

かつてフランスの女性解放の思想家は「女性になる」必要があると言ったとか。だからじゃないけど、障害者も「障害者になる」んだと。あえて、そうする必要があるんだと。差別を明確に実感することは難しいし、しんどい。誰もが、自分は一人の人間だと、そう見てくれと思ってるとは思う。実写ドラマとして放映されている「●●人間べム」じゃないけど、「はやく人間になりた~い!」って叫びたくなるときだってあるんじゃないか。けれども、簡単にそうさせてくれない差別があって、それを生みつづけている社会がある。そこで生きていく限り、そこから逃げられないのだとしたら、せめて、自分がその中でどういう存在と感じさせられ、ひとりの人間である前に、いかに障害者として、どう位置づけられているのかを「障害者となって」引き受けていくべきじゃないのかと思ったりする。

だから、「障害者」を「障がい者」と言い替えてみても何の意味もない。「障害」との呼び名はいいもんじゃないけど、そう呼ばれることがイヤなのもわかるけど、「障害」は僕たちが自称してるわけじゃなくて、社会から差別とともに与えられたモノなのだから、単なる言い替えで逃げさせるのではなくて、それは社会の責任として社会にちゃんと引き受けてもらって、ちゃんと認識してもらって、ちゃんと考えてもらって、ちゃんとケリをつけてもらおうよと。つまり、一人の人間でありたいと思うそんざいを、だれが「障害者」にしてんのか、そこらへんをきっちりと言っていくためにも、僕たちは「障害者になろう!」というのが、いま正直に考えてること、かな f^^;

#### かみはんきしゅうだん ほうこく 上半期集団 ILP報告

かだち まこと 足立 誠

今年の夏頃からナビゲーションでも告知していた集節 ILP (自立生活プログラム) 「覚たこともない料理を食べに行こう!」を 9 月8 日~22 日にかけて行いました。 (23 回、参加者 5名)

えんかい 今回はその報告を書いていきたいと思います。

#### 紫) かい 第1回 <ガイパットマムアンヒマパーン!?>



↑川嶋チーム (タイ料理)



←足立チーム (メキシコ料理)

料理名だけではどんな料理なのかまったくわからないので、料理に使われている材料から予想して普段 養べ慣れているもので一番近いと思う料理を選択肢3つから選びます。いくつかは聞いたことのある(気が する?) ものもありますが、ほとんどは聞きなれない言葉のオンパレード!ガイパットマムアンヒマパー ン、チミチャンガ、ケサディージャ・・(すべて料理名ですが、どんな料理か知ってますか!?)

#### 第2回

<見たことない料理を食べに行こう!>



ILP(自立生活プログラム)とは・・ 日常生活において必要な、様々な経験 (質い物、料理、遊び、外出など)を仲間 と一緒に楽しみながら行い、自分の分 をつけていくためのプログラム。

 $\leftarrow$  首節地は $2^{\circ}$  方所。チームごとに分かれてそれぞれの行き芳で店を首指します。

首的地を輸貨に確認。もちろん輸貨だけではなく、途中ですれ選う通行人も呼び止めて聞きながら店を複索。







ガイパットマムアンヒマパーン

ケサディージャ



チミチャンガ



↑→ 注 文 中。

1回首のクイズで出題された料理と、今回は特別に写真やイラストなしのメニュー表から、 なままれる。 では、 ちゅうもん 名前の響きだけを頼りに注文。 どんな料理かわかったのはタコスくらい・・・

ッヒョウッ で 料理が出てくる度に「これはピザに似てる」とか「全然違うやん」と言いながらいざ実食。食 べながら参加者同士のお互いの現在の生活や住まい、家族について話が盛り上がりました。 初めてメキシコ料理を食べた懲想は、「美味しかった」という言葉が出てホッとした党節、「やっ ぱり日本食が良いなぁ」という正直な感想も聞けました(笑)

#### 第3回<振り返り>

まいしゅうび かいめ ぜんたい ぶ がえ りと た りょうり しゃしんしょうかい まじ かんそうかい しゅうりょうしき おこな 最終日の3回目は全体の振り返りと食べた料理の写真紹介を交えて感想会、修了式を行いま した。 $\stackrel{5}{\sim}$   $\stackrel{1}{\sim}$   $\stackrel{1}{\sim}$  をだめ、 普段なかなか食べないものを食べられて良かった等の態想がありました。

「見たこともない料理」 管さんも 1度味わってみてはいかがでしょうか?









## しゃかいしけんじょうほう

# 社会資源情報

イタリアン編

ちょう さ び - ねん がっ か すい 調 査日:2011年11月2日(水)

ちょう さ しゃ でんどうぐるま しょうしゃ めい しゅどうぐるま しょうしゃ めい 調 査者:電動車いす使用者1名 手動車いす使用者1名

ҕょぅさばしょ 調査場所:ナポリ料理 アモーレ・ナオミ

たいう しょ おおきかしひらのくうりわり 住 所:〒547-0024 大阪市平野区瓜破2-1-8 パシフィックエイジェイビル 2階

電話番号: 06-6769-3036

ネいぎょうじかん 営業時間:11:00~23:00(カフェタイム 14:30~17:00) 駐車場:77台(無料)

定休日:第3月曜日(祝日の場合は翌日) も、よ、えき、おおさかしえいちかてったにまちせんきれうりおりえき 最寄り駅:大阪市営地下鉄谷町線喜連瓜破駅

「アモーレ・ナオミ」ということで、気になって行ってみました。ビルの 2階にあり、エレベーターで行ってみました。ビルの 2階にあり、エレベーターで行ってとができ、入り口もフラットで入りやすくなっていて、店内も 車 いすで充分通ることができる幅になっていました。 車 いすトイレも同じ階にあって便利!席は 70席。

注文したピザを運んできてくれた店員さんに「ナオミさんですか?」と聞いてみましたが違うとのこと。 みせ なまえ ゆらい しゃちょう むすめ なまえ 店の名前の由来は社長の娘さんの名前からとったそうです。みんなで2枚のピザを注文したのですが、 2枚目がなかなか出てきません。店員さんにオーダーが通っているのかを確認すると、冷めないように たお まいめ だ みはか 1枚目のピザを食べ終わったのを見計らって、2枚目を出すことにしていると言われ、ちょっと恥ずか じょうきょう わらい しゃしん b しい状況になりました(笑)写真では解かりにくいかもしれませんが、ピザはすごく大きく、ボリュ しょうかい ームがありました。テレビや雑誌でも紹介されているこのお店のオーナーはイタリアの方のようで、ま さに本場の味といった感じです。やっぱり、スーパーで売っているような冷凍ピザとは全く違いました。 おいしいピザをたくさん食べられてお腹がいっぱいになり、とても満足でした。今回はピザだけでした ゆうめい が、パスタもおいしいことで有名らしいです。



店内の様子



おしゃれな雰囲気です



アンチョビ (カタクチイワシの塩漬け) がトッピングされたピザ



モッツァレラチーズのピザ(左)とおまけ? で出していただいたパンのようなもの(右) これがまたおいしくてビックリ!





入り口の横にある大きな釜で、実際にピザを焼いているところも見られます。

同じビルの3階にはカラオケボックスもあるので、ピザの後はカラオケ!なんてのもいいかも しれませんね。 「**アモーレ・ナオミ」**是非行ってみてください☆ オススメです♪

へんしゅうこ うき

### 編集後記

みなさん。こんにちは。朝晩、だいぶ寒くなってきましたが、風邪などひいていませんか? 今さら!?と思われる方もいると思いますが、AKB48のAKBは秋葉原の略だということを、つい最近知りました(^\_^;)周りの人に『知ってた?』と聞いてはみたんですが、ほとんどの人から『知ってる!』と言われたりとか、何言うてんの(・◇・)?みたいな顔で見られます。もっとAKBについて勉強しなくては(笑)

#### 【やました流 AKB】

A=秋の風情を楽しみながら K=紅葉 見に行こ〜よ B=ボーっとしながら いつまでも (やました)

写真を撮るのが趣味だと言いながら、最近はめっきり出不精になり、カメラがほこりをかぶっています。紅葉の季節が近づき、京都にでも行きたいなとは思っているのですが、寒くなってきたしなーって感じです。以前は、カメラを持ってあちこち行ってたのに、なぜこんなに出不精になってしまったのでしょうか?近所の秋でも見つけてみようかなと思う今日この頃です。

(まつざき)

#### 自立生活センター・ナビとは…

☆ 私たちの考える「自立」は…

働いてお金を稼ぐ事や身の回りのことを全部自分で出来るようになる事、それだけが「自立」でしょうか?もちろんそれも大切なことですが、できない事は人の手を借りたり、気持ちを上手く伝えられないときには仲間にサポートしてもらったりしながら、一人一人の生活を創っていくことも「自立」に色々な方法でお手伝いしていきたいと考えています。

☆ 地域で障害者の自立を実現していくための「道案内 (ナビゲーター)」として例えば「介護してくれる人を探しているんだけど?」「家の中をもっと使いやすくしたいけどどうすればいいの?」 そして「自立したいけど自分には無理かな?」

自立生活センター・ナビでは、こうした障害者や家族の悩みや相談について、障害を持つピアカウンセラーが同じ障害者の立場でお話を伺い、制度の説明や申請のお手伝い、住宅改造などのアドバイスをさせていただきます。その他、電動車いすで街へ出かけたり仲間と一緒に料理を造ったり地域で生活していく上で必要なことを、楽しみながら経験できる「自立生活プログラム」や、自立生活に関わる各分野の方々をお招きしてお話を伺う「自立生活セミナー」の開催、情報誌「ナビゲーション」の発行も行っています。

発行 自立生活センター・ナビ

でんわ 06 (6760) 2671

住所 〒546-0042 大阪市東住吉区西今川2-3-8 ファックス 06 (6760) 2672